

留学背景

私は今回が2回目の留学でした。1回目の学部1年次に参加したオーストラリアでの1ヶ月半の留学プログラムで異文化に身を置くことに魅力を感じ、再び海外への挑戦を漠然と志していました。その中で、今回は留学テーマとして語学ではなく自身の専門を海外で深めたいという思いがありました。それは、留学の醍醐味は語学力の向上だけでなく、1つの分野に対して幅広い視点を身につけること、さらに現地の文化や働き方を実際に肌で感じることにあったと考えていたためです。このような背景から指導教員にデンマーク工科大学の研究室を紹介していただき、本学から特別派遣研究生として現地で研究活動を行いました。また、文部科学省が展開しているトビタテ！留学 JAPAN の支援を受け本留学の実現に至りました。

留学生活

デンマーク工科大学(DTU)の糖質科学・バイオテクノロジー研究室で1年間糖質関連酵素の機能解析に関する研究活動に従事しました。研究内容については、本学での研究内容を受入先で発展させる形を取りました。学部および修士での研究留学では受入先機関から提案されたプロジェクトに参加することが一般的だと思いますが、私は渡航前に受入先の教授とオンラインでミーティングを複数回行い、幸いにも留学先にこれまでの研究を継続できる環境があったことから、私自身の研究を継続することができました。

メインキャンパスから離れた寮での生活で片道1時間かけて通学し、朝9時半から夕方16時まで研究を行いました。毎日グループ全員でランチをして、月曜日14時の『ヒュッグ(Hygge)』ではケーキを持ち寄り、金曜日の夕方には研究室内でビールを飲みながら様々なトピックを話す中で、デンマークのライフスタイルを知り幸福の国と言われる所以を感じました。帰宅後は国際寮の友人とジムへ行き、一緒にディナーを作ることもありました。その他にも、トビタテ生同士でコペンハーゲンサクラフェスティバルにてお団子の販売を通して、現地の方々へ日本文化を発信することにも取り組みました。また、現地駐在員のサッカーコミュニティーにもお世話になり汗を流していました。

留学を通して学んだこと

研究活動を通して、サイエンスとは何かを根本から学ぶことができたと感じています。その中で、一つ一つの結果や研究計画に対して自分自身の見解を持つ重要性を学びました。世界各国から集まった博士研究員・博士学生で構成される研究室に身を置き、周囲のレベルやスピード感に苦勞することもありましたが、自分自身の見解を持つことで、それらに対するフィードバックを同僚や教授からもらい、コツコツと知識を深めていくことができました。

また、世界各地の学生が集まる国際寮での日々の生活やヨーロッパ各国への旅行を通して、デンマークだけでなくヨーロッパ各地の文化や価値観を学びました。さらに、様々なご縁で繋がった世界で活躍するプロスポーツ選手や駐在員の方々との交流させていただき、研究活動からだけでは得ることのできない学び、キャリア観を醸成することができました。

トビタテで留学して良かったこと

留学計画をゼロから設計し、自分自身が望む形での留学を実現できることです。裏返すと、少しでも詰めが甘いとその計画が破綻する可能性も大いにあります。その点を見定める意味で長期間に渡る選考もありますが、留学交流推進課の方々をはじめ多くの人の手を借り、留学計画を磨き上げる過程も大切な経験だと思います。それでも留学では、誰しも何かしらのトラブルが生じます。私自身も渡航予定日の1週間前にビザが拒否され出国できないという想定を遥かに上回るトラブルに直面しました。しかし、そのような場面で周囲の人と調整しながら何とかやり切ることこそ、トビタテという自身で計画する留学で得られる財産だと思います。

また、日本各地の様々な専門性を持つ学生とのつながりができる点も大きな魅力です。留学中の、留学前後の研修で留学計画や留学成果を共有しアップデートすることは非常に大切な時間でした。留学後も各方面で切磋琢磨できる仲間が沢山でき非常に心強いと感じています。

最後に

私自身もこの留学をしようと決めたのは書類提出締切日の約1か月前でした。そこから、留学交流推進課や自然科学研究科の方々から手厚いサポートを受け、本留学に至りました。少しでも留学に興味があるけれど迷っているという方は、ぜひ最初の一歩を踏み出してみてください。その決断の先には、これまでになく光景が待っている

はずです。試行錯誤を重ね、多種多様な国籍、世代、業種、価値観を持つ人と交流し、多角的な視点を得ることで思考に立体感が生まれ、人生をより豊かにしてくれると思います。トビタテ！留学 JAPAN を利用すると留学前後の研修も充実しており、有意義な留学を実現できると思います。また、理系学生の留学制度、留学中の就職活動等、何か相談がある際には私も喜んでサポートさせていただきます。



1年間お世話になった研究室の方々



デンマークでのサッカー観戦



クリスマス時期のコペンハーゲン